

第7回定例会(9月15日)で一般質問が行われ、古谷一夫議員が質問をしました。内容を要約して掲載します。

地域振興対策の基本的な考え方と 施策展開の方向性について

古谷一夫 議員



人口減少と超高齢化を 見据えた中での持続可 能なまちづくりの基本 戦略と施策展開

議員 第6次総合計画が策定中であり、人口減少と超高齢化における経済振興や雇用、医療、福祉、介護のあり方、地域公共交通対策の喫緊性については町長と基本的に課題を共有していると考えますが、町の現況は深刻度が急速に増している。農業関連と公共サービス、公共投資、年金経済だけが地域のフロー経済として動いているのが現実で、医療、福祉、介護、教育や観光など独自施策や対策により制度的・義務的な負担以外の支出も肥大化し、大規模施設の老朽化による長寿命化と改築

への投資が今後増大する。一方では、コロナ禍で国による財源手当てはされているが、近い将来、この反動として地方財政の引き締めにより地方交付税の圧縮が強く予想される。清里町の自主財源の実態からも財政運営上の厳しさが一段と増してくる。持続可能なまちづくりを目指すうえで基本戦略と施策的な展開の視点をどこに置くのか。

議員 総合計画の実態として総花的にならざるを得ない部分もあるが、人口減少と超高齢化により生じている課題や住民不安への取組み戦略の明確化が必要であり、この町に住み続けることができるという「住民の安心感」に軸足を置くべきではないか。

議員 従前は3地区の均衡した振興が図られてきたが現在の緑・札弦地区の人口減少と高齢化の厳しい実態は生活維持機能を確保していくことすら困難な状況である。清里市街地区においても空き店舗対策が進まない中で木材関連製造事業所の清算閉鎖により空洞化だけではなく美観・治安・防災上の懸念も新たに生じている。こうした地区の地域振興対策ビジョンの構築の必要性をどのよう認識され施策に取り組みされるのか。

議員 清里町全体で人口減少と高齢化が進み、特に札弦と緑地区の人口減少と高齢化は著しい。高齢化率は8月末現在で札弦第1自治会が45.8%、札弦第2自治会が69%、緑自治会が53.7%と超々高齢化社会となつている。



一般質問

地域振興対策に向けた 土地利用計画とまちづ くり機能の再編と集約

議員 人口減少や超高齢化が今後も進展するとコンパクトで機能性を備え、行政サービスの連携が集約的に図られるまちづくりが重要。コンパクトタウン化が町民生活や防災、行政運営とコスト管理の面からも強く求められる。町有地の活用も含めたまちづくり計画のランドデザインとして、土地利用計画のマスタープラン策定は総合計画と連動して必要とされるのではない

現在の清里町ランドデザインは、第5次清里町総合計画と連動するものとして平成23年から令和2年度を計画期間として策定され、土地利用計画と景観計画が施設整備計画、主な施策事業の内容で構成され、現在は公共施設の長寿命化に向けた改修整備や認定こども園など大型事業も予定されており、土地利用計画を含めたランドデザインの策定について十分に検討したい。

議員 支所の機能については、生活維持機能や住民自治、高齢者見守りという観点から能動的な見直しが必要ではないか。具体的な取組みの考え方は。

議員 支所の機能については、生活維持機能や住民自治、高齢者見守りという観点から能動的な見直しが必要ではないか。具体的な取組みの考え方は。

議員 今後の策定の中で国の示す総合戦略の4つの基本目標に取り組みなければならぬ。清里町独自の計画のあり方についてご審議いただくとことなる。そのなかで具体的な方向性、戦略のあり方についても検討をいただくとことなる。そのなかで具体的な方向性、戦略のあり方についても検討をいただくとことなる。そのなかで具体的な方向性、戦略のあり方についても検討をいただくとことなる。

町長 本町においても地域特性を最大限に生かしながら利便性が高く住み続けられる、コンパクトでコスト管理の面からも効率的なまちづくりの必要性が重要と認識する。公共施設管理計画のもと機能が類似した施設を集約し連携して活用することで、まちの魅力や利便性の高いまちづくりを進めたい。



議員 東京圏への一極集中を脱却し、地方の人口維持や経済・雇用の活性化を目的として実行された第1期5カ年計画は目標達成には及んでいないとの評価だと認識する。

議員 従前は3地区の均衡した振興が図られてきたが現在の緑・札弦地区の人口減少と高齢化の厳しい実態は生活維持機能を確保していくことすら困難な状況である。清里市街地区においても空き店舗対策が進まない中で木材関連製造事業所の清算閉鎖により空洞化だけではなく美観・治安・防災上の懸念も新たに生じている。こうした地区の地域振興対策ビジョンの構築の必要性をどのよう認識され施策に取り組みされるのか。

議員 今後の策定の中で国の示す総合戦略の4つの基本目標に取り組みなければならぬ。清里町独自の計画のあり方についてご審議いただくとことなる。そのなかで具体的な方向性、戦略のあり方についても検討をいただくとことなる。そのなかで具体的な方向性、戦略のあり方についても検討をいただくとことなる。

決算質疑

決算質疑

令和元年度決算質疑

審査期日 9月16日

決算審査特別委員会

委員長 伊藤 忠之

副委員長 池下 昇

一般会計

【ふるさと寄附金】

質問 寄附をされる方の内訳は。また、返礼については今後も今の流れを変えずにやっ

ていく予定か。
答弁 令和元年度の金額の実績は1千142万5千円で、ふるさと会に加入されている方や斜里岳ロードレース大会に参加された方などを含めてご寄附いただいている。前年度と比べて寄附金額が40万円程増えており、今後も現状をベースに進めていく予定である。



【釧網本線利用促進】

質問 緑の湯に配備した電動小型モビリティ、アイロードの利用実績は。導入当初は説明があったがその後の説明がない。今年度の予定は。

答弁 昨年の利用件数は20件弱であった。今年度も連携しながら行いたいということを進めていたが、企業側からオンラインピックの予定があったこと、また新型コロナウイルスの流行により実行できなかった。

【道路防犯灯】

質問 従来は蛍光灯やナトリウム灯などの防犯灯が多かったが、移設工事に伴って全てLED化されたのか。

答弁 町内における防犯灯はすべて、LED化が完了している。
質問 「まちづくり住民大会」がなくならないなど、地域課題を共有しながら、共生・共創型の地域社会、自治会を作っていく営みがかかり衰退しているが、今後の具体的な取り組みを検討しているのか。

【自治振興費】

質問 「まちづくり住民大会」がなくならないなど、地域課題を共有しながら、共生・共創型の地域社会、自治会を作っていく営みがかかり衰退しているが、今後の具体的な取り組みを検討しているのか。

答弁 具体的な案は出ていないが、地域課題を共有する場、町民の方と共通認識を持つ場が必要である。町民の活動をきちんと支援できる形を積極的に進めていきたい。

【防災対策費】

質問 発電機を設置している事業所や各施設で咄嗟の事態に対応できるよう、毎年1度は発電機を使用するような形を行政として企画していただきたい。

【空き家対策】

質問 空き家のリフォーム後は賃貸や売買など有効に活用されているか。町内には沢山の空き家があるので今後よりリフォームや家具の片付けなどのPRも積極的に行っていたきたい。
答弁 リフォーム後は有効に活用されている。清里町全体に空き家が増えている実態は把握している。ご意見を参酌しながら空き家対策を行ってきたい。

【公園管理】

質問 公園や緑地の管理が行き届いていないのでは。点検や補修修繕の取り組み実態は。
答弁 春先の使用開始時期に点検を行い、また終了時に点検している。草刈りは地元事業者がシルバースターに委託しているが、ご指摘いただいた把握ができていない部分について改めて点検をしていく。



【ケアハウスきよさと】

質問 ケアハウスの低所得者入居者支援事業の支援数は。
答弁 7千円、5千円、3千円と区分が分かれており9名の方が支援を受けている。

【空き家対策】

質問 空き家のリフォーム後は賃貸や売買など有効に活用されているか。町内には沢山の空き家があるので今後よりリフォームや家具の片付けなどのPRも積極的に行っていたきたい。
答弁 リフォーム後は有効に活用されている。清里町全体に空き家が増えている実態は把握している。ご意見を参酌しながら空き家対策を行ってきたい。

【公園管理】

質問 公園や緑地の管理が行き届いていないのでは。点検や補修修繕の取り組み実態は。
答弁 春先の使用開始時期に点検を行い、また終了時に点検している。草刈りは地元事業者がシルバースターに委託しているが、ご指摘いただいた把握ができていない部分について改めて点検をしていく。

【小学校教材等整備事業費】
質問 パソコンとタブレットの学校現場での使い分け方、

答弁 発電機を配備した側と配備を受ける側と意識の共有化を図り、いざという時にすぐ使えるような形をとっていきたい。
【洪水ハザードマップ】
質問 立派なハザードマップが作成されて町民に配布もされているか。
答弁 ハザードマップ作成後に町広報でもお知らせした。札弦、緑、清里の3カ所で説明会をやる予定をしていたが、コロナの影響で開催できずに至っている。

【防災WiFi】

質問 WiFi整備は何カ所で行ったか。
答弁 役場庁舎、町民会館、札弦センター、緑センター、保健センターの5カ所のエリアで使える配備である。
【総合庁舎発電機設計】
質問 今年度予算で整備される発電機は国が求める非常用電源の備蓄時間72時間分をクリアできるものなのか。

【総合庁舎発電機設計】

質問 今年度予算で整備される発電機は国が求める非常用電源の備蓄時間72時間分をクリアできるものなのか。
考え方について。
答弁 タブレットはいわゆる文房具の1つのような認識で、児童がタブレット上で回答をして全員の回答を先生がタブレットで確認しながら授業を行うことも可能である。パソコンについてはワードやエクセル、インターネット接続などコンピュータを学ぶための使い方に特化していくと考える。



【町民活動施設使用料】

質問 町民活動施設の利用実態は。
答弁 昨年度の町民活動施設の利用数は、手工芸室66名、陶芸室382名、農畜産加工室463名、休憩室167名、研究室229名、室内遊技場59名の合計1千366名であった。

答弁 来年2月完成予定で庁舎暖房灯油と共有でき、1万リットルのタンクが整備され74.6時間は発電機を回せるものである。
【町有林管理費】
質問 青葉地区のカラマツ伐採計画について。
答弁 昨年度に引き続き、最終処分場の周辺の木を伐採する計画である。
【清里町移住定住促進補助事業】
質問 体験住宅について何件の利用があったか。体験後、清里町に興味を持って住んでみたいとの意見はあったか。
答弁 移住体験のちよつと暮らしは令和元年度の実績が16組で56名であった。昨年度、実際に移住に繋がった方はいないが、過去に体験住宅を利用後に清里に移住された方はいる。

【清里高校支援事業】

質問 特色ある学校づくり推進、通学バス運行補助を計画と実績を比較すると、大きく減額となっているのはなぜか。
【国民健康保険税】
質問 国民健康保険税の未納数は。収納率をあげる努力をしていただきたい。
答弁 現年度課税分は実人員20名、153万3千423円。滞納繰越分は、実人員15名、248万1千737円である。収納対策チームをつくり今後も情報共有を図りながら徴収事務に当たる。

特別会計

【国民健康保険税】
質問 国民健康保険税の未納数は。収納率をあげる努力をしていただきたい。
答弁 現年度課税分は実人員20名、153万3千423円。滞納繰越分は、実人員15名、248万1千737円である。収納対策チームをつくり今後も情報共有を図りながら徴収事務に当たる。

意見書提出

9月定例会で3件の意見書が原案どおり可決され、国に提出いたしました。

▼新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について

▼国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書について

▼種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書について

9月18日(金)に決算審査総括質疑が行われ、池下議員が質問をしました。内容を要約して掲載します。

総括質疑



池下 昇 議員

日本で最も美しい村連合

議員 加盟して丸4年が経つが、成果は現れたのか。
町長 道内連携町村を中心とした研修会、ふるさとPRステージ、東京の北海道物産、加盟地域やサポーター企業と情報交換など清里の認知度向上に向け取り組みを進めた。特に北海道連携会議において一昨年からスタンプリーを加盟9町村で行い、昨年は清里町が当番町として事業を展開

総括質疑

緑町、札弦町の活性化



議員 緑町小学校や光岳小学校の跡地活用について、今後も地域住民からの要望がない場合はどう考えているか。
町長 光岳小学校は、4自治会の役員の方を中心に今まで話し合いをしてきた。コロナの影響で今は中断しているが落ち着いた段階で再開する。時間に余裕はなく早い段階で構想を示せるよう検討を加える。

議員 札弦地区の高齢化率が非常に高い。活性化というより日常の生活維持をどうするかが先決である。今後の展望は。
町長 札弦地区は高齢化が一番進んでいる。高齢者がいつ

し、500名以上の方が清里町を訪れた。

議員 連合に対する町民の認識は薄い。加盟後の具体的な交流人口の推移は。
町長 広報にて町の取組みや連合の事業概要について報告しているので一定程度の認識はしていると思

う。平成28年は38万人、29年は45万人、以降も42万人以上の方が清里町を訪れている。全体として関係人口や交流人口は増加していると捉える。

議員 清里町のPRのため、連合に加盟したことをもっと利用した方がよい。交流人口が目に見えて増える方策を考えて欲しい。
町長 徐々に地域振興、活性化している。連合への加盟が1つのきっかけとなり移住に繋がる事業を展開したい。



までも地域で安全安心に暮らすための対策が急がれる。地域交通、自治会活動機能、医療、福祉、介護など地域包括的な高齢者対策をどう考えるか、生活機能の向上を第一に考えなければならぬ。高齢化率の現状を認識し対応策の検討を加えていきたい。

議員 緑地区も高齢化率が高く今ある商店もいつまで続いているかわからない。地域の足がいかに大事か、商店が無くなった時どうなるのか。地域の商店がなくなるならいよう行政が応援する方法もあるのでは。
町長 緑地区は自然と本当にマッチした地域であり温泉付き分譲地ということで移住される方もかなり多く、そこで起業された方へ支援をしてきた経過もある。

また、緑地区で唯一、日用品が買えるお店が、仮に畳むということになれば無店舗地区となり大変な事態である。町としては地域を守るための施設として考えていかなければならない。

公営住宅エアコン設置

議員 公営住宅にエアコンの設置を希望する方には設置可能な整備をしてはどうか。
町長 公営住宅、特公賃に町でエアコンの整備はしていない。設置希望者には、ご自身で設置をして退去の際に壁に開けた穴など現状修復をしてもらうことを前提に相談のうえ対応している。

議員 ひまわり団地の建設予定3戸分について、はじめからエアコンの設置が可能な状態にしたら良いのでは。
町長 設置場所については、建物や配線などへ影響を及ぼす可能性があるため入居者と相談のうえで設置場所を選定する。今後同じように対応していきたい。

公営住宅跡地について

議員 古い公営住宅を取り壊して整地になっているが跡地に対する考えは。
町長 基本的に長寿命化計画に沿って建替用地、不用地の処理を行う。不用地は分譲住

議員 札弦と緑地区に地域支援員を配置して買い物付き添いや週に2回程度病院に連れていくなど、地域の方々に対して色々な役割を果たすのはどうか。地域活性化より人と人とのつながりを大事にする支援の方が地域を守る糧となると思うが。
町長 今年はコロナの影響で高齢者が大きな不安を感じている。その不安を解消するために見守りや相談の目的で2名の職員を臨時的に採用し高齢者のお宅を定期的に訪問する事業を始めた。地域の方々

が生活維持機能を維持するために新しい体制が必要となればしっかりと検討していく。



宅地としての整備や若者の定住用の用地にするなどの対応が考えられる。今後の整備計画や第6次総合計画の中で整理し前向きに進める。

焼酎事業について



議員 焼酎事業の構想は。
町長 これまで幾多の苦難があつたが清里の特産品、誇りとなる製品になり今日を迎えている。長い歴史をかけて積み上げてきた実績であり、収支が合わないだけで切り捨てはしない。町民が育ててきた誇りに思う特産品として今後も継続をしていきたい。

議員 収支が合わない金額が余りに大きくなるとそうはいかないのでは。今回の町民1人に対し3千円の購入券配布は、町がお金を出して焼酎を買っているのと同じである。

毎年繰入れが6千万、7千万になっても継続させるのか。
町長 新型コロナウイルスの影響でほとんどの飲食店が営業を停止し清里町の焼酎だけでなく他の酒類も厳しい状況であり次の手を考えなくてはならない。1人3千円のプレミアム焼酎券を交付し、改めて町の特産品としてのイメージを町民に再確認してもらうための事業展開である。大幅な予算の見直しを含めて次のステップにしたい。
議員 今後の焼酎事業の整備資金に約3億円というのは町民は納得できるのか。町長の将来展望は。
町長 衛生面、安全面は最大に気をつけ安全を確保した上で少しでも施設の寿命を延ばす方向を模索し、当面はできる限り修繕が可能なものは修繕する方向でいく。大規模改修となる場合は補助事業や財源措置のある起債などを十分に活用しながら効率的に進めたい。

議会活動報告



札弦クリーンセンター



斜里郡3町議会連絡会議

10月2日(金)に役場3階各種委員会室において「斜里郡3町議会連絡会議」を開催しました。
斜里町、小清水町、清里町の議会から15名が参加し、①選挙公営について②新型コロナウイルスの影響による状況と対応について③敬老会の開催状況と記念品についてを協議、その他情報交換を行いました。

産業福祉常任委員会

10月16日(金)に宇遠別川地区と札弦クリーンセンターの現地調査を行いました。



宇遠別川